

◆ アトラスの立ち位置 ◆

「…おそらくロットリングを使っていた最後の世代で、その後の様々な変化には驚くばかりでした…」
何とも言えず、ただ頷いていた。

茨城県高等学校教育研究会（茨高教研）
地理部の講演会。例年、各学校での先生方の
実践発表も併せて実施しているのだが、今年度
は講演会のみの実施とした。その講演会での茨
城大学教授 田中耕市先生のお話の一部だ。



田中先生のご専門は「地理学・空間情報科学・GIS」（茨城大学HPより）。今回は、高校で令和4年度から年次進行で実施される新しい学習指導要領に関連して「地理総合とGIS」という演題でご講演いただいた。

冒頭に戻るが、私自身もロットリングのお世話になり、国勢調査から作成されるメッシュデータの入手に総理府統計局（現総務省統計局）まで出向いた経験がある。GIS（地理情報システム）の急進展には、本当に目を見張るものがある。

さて、今回のご講演、すぐに使える「Web GIS」の話題を含め、新学習指導要領での必修科目となる「地理総合」との関連について、主に地図とGISの活用を中心にお話くださった。ひょっとすると、様々な教科・科目の中でもこの「地理総合」は、今回の学習指導要領改訂の方向性を示した中教審答申「何ができるようになるか・何を学ぶか・どのように学ぶか」（平成28年12月）の3視点に最もアプローチしやすい科目なのではないか、という視座を得られるものとなったと思う。新科目の可能性をお示しいただいた田中先生には、本当に感謝している。ありがとうございました。

さて、最後にこんな質問があった。

「（このように地図のデジタル化が進展する中で）地図帳の位置づけは？」

意外と知られていないことかもしれないが、この地図帳は「教科用図書（教科書）」である。メルカトル図法で知られるメルカトルの息子が「ATLAS」と名付けた地図帳の扉に描かれたギリシア神話の神「アトラス」（平凡社地図出版HPより）。

田中先生とこんな話をした。

「地図帳をずっと見ている、そんな地理好きの生徒も素敵ですよ…」